

コメント：リスクと確率について考える

甲斐倫明
大分県立看護科学大学

放射線分野での「リスク」は、低線量の放射線被ばくに伴う確率的影響の発症確率として認識され、放射線防護の基準の合理性の議論に使用されてきた。リスクの表現として確率を用いることは科学的な認識としては自然な推論であるが、無次元の確率以外に、